

的にある一つの形を決めるのが我々の持つている「概念」なのです。

一般に常識があると言われていた人間はたえず何かにおびやかされています。一つのあたりまえの行動をおこしても、反省心のある人ほど自分のやつたことを無理に正当化しようと苦しみます。それを説明したのが心理学者のフェスティンガーで、「認知不調和」と言います。私はそれをデザイン教育の中にあてはめてみようと考えました。

デザインをやることは「創造」をやることです。それは真似をしない、現在あるものとは違つたものを考えることです。そのためには「概念」を打破しなければなりません。

「概念」とは如何にして形成されるのでしょうか。生れたての赤ん坊には概念は全くありません。赤ん坊は先ず母親を通じ、家庭を通じて少しづつおぼえてゆき、長ずるに及び社会を通じて色々なことをおぼえます。従つて経験の多い者又は年とつた者ほど概念の世界が大きくなります。

概念は元来宗教的な儀式によつてつくられたものです。生命を守るために祈りが行なわれ、成功したものは続けられ、何人かがやつて広まり、失敗したものはやらなくなり又は禁止される。それが習慣化する。それにより我々の衣服持物等が制約をうけるようになる。そのようなことは日常沢山あります。

何れにせよ一つの概念(習慣)が大きくなるためには、何人かの概念が集まり、それが共同の概念となることが必要です。その過程では融合又は吸収が行なわれなければなりません。又革命であることもあります。つの場合強い者が弱い者を征服することになります。かくして多くの人々の概念が集まり、一つの世界が出来、そして段々大きくなり飽和してゆきます。

デザインの世界では概念は変らなければなりません。変ることによつてデザインが成り立つのです。衣服、住居、生活様式等も変つて来ました。我々デザインをやる者は、ある時には期待しながら、又ある時は積極的に変えさせようと努力します。然し当分無秩序的な傾向が続くのではないのでしょうか。

出席報告

- | | | | |
|-------------|----------|--------------------------------------|------|
| 1. 本日の状況 | 会員数34名 | 出席25名 | 欠席9名 |
| 2. 前回の確定出席率 | 100% | (会員数34名 当日出席29名
メークアップ5名 出席合計34名) | |
| 3. 他クラブの状況 | 函館90.00% | 函館東86.67% | |

次回(6月7日)のプログラム

会員卓話 「北洋雑話」 杉本隆治君

The Weekly Report of Hakodate North R.C.



第150回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

本日のプログラム

会員卓話 「北洋雑話」 杉本敏雄君

- 司会 飯田会長 斉唱 我等の生業
- ゲスト 木下賤雄君(飯田会長の)
- ピジター 宮崎正雄君他12名(函館) 北野治君他5名(函館東)
- 幹事報告
- 1. 小畑ガバナー・ノミネーよりバリーからのお葉書が参りましたので回覧します。6月4日10時45分に函館空港に到着されますので、御都合のつく方はお出迎え下さるようお願いいたします。
- 2. 今週のウィークリーで、次回のプログラムの卓話が「杉本隆治君」となっているのは「杉本敏雄君」の誤りですので訂正致します。
- 3. 親睦委員会主催で、東クラブと北クラブのゴルフ大会が行なわれます。6月3日午後2時スタート 場所は「湯の川」 会費1,000円
- 4. 滝上仮R.C. 6月11日創立総会が行なわれます。
- 会員卓話 「セメント雑話」 谷口 勇君
- 1. セメントについて
ポルトランドセメント 普通、早強、中庸熱の三種があり、クリンカー(石灰質原料及び粘土質原料を混ぜその一部が熔融するまで焼成して得る)にセッコウを加え、粉碎してつくる。JIS製品となつている。
混合セメント 高炉、シリカ、フライアッシュの三種があり、それぞれにA、B、Cの三種がある。又お好みにより如何にもつくり得る。
- 2. セメントの起源
世界最古の廃墟と言われるシブラス島の寺院の礎石の間に石灰モルタルが使用されている。エジプト、ローマ時代に進歩したが、中世紀の暗黒時代には見るべきものはなかつた。1824年にイギリスの煉瓦工ジョセフ・アスプチンが石灰石と粘土の混合物をやや高温に焼成し、之を粉碎して煉つたところ、偶然天然の石の様に固結することを発見し特許を得た。その色がポルトランド産の石材に似ているのでポルトランドセメントと命名した。



3. 我国におけるセメントの発生

明治5年横須賀造船所長平岡通義の建議により、大蔵省土木寮所管で東京深川に「撰綿篤製造所」が設置され、同8年に漸く輸入品と遜色ないセメントが生産された。14年に山口県土族笠井順八が小野田に工場を、17年に浅野セメント(日本セメントの前身)工場が出来た。

4. 業界の発展

明治24年4月函館区の有力者吉川泰次郎らが発起人となり、最初函館後上磯村谷好に北海道セメントを創設し、中沢岩太、高山基太郎博士に設計を委嘱してホフマン式輪窯一基を設置し、25年製造を開始した。

明治34年にはチューブミルをドイツから、36年には回転窯をアメリカから輸入し、大正6年にはコットレル式電気収塵器、10年には廃熱汽缶を採用した。又昭和2年にはベーツ式多層紙袋を採用し、25年には海上バラ輸送、26年には陸上バラ輸送を開始している。

北海道関係では昭和29年に富士セメントが設置された。又現在包装所は函館、釧路、札幌、苫小牧及び留萌の5ヶ所にある。

5. 諸統計

世界に於けるセメント生産量 1位ソ連6,480万トン、2位アメリカ6,394万トン、3位日本3,267万トン。従業員1人当りの生産高はアメリカ1,853トン、日本1,328トン、又国民1人当りの消費量は西ドイツ549Kg、アメリカ334Kg、日本322Kgである。

我国に於ける最近のセメント販売高 昭和41年度は国内用3,590万トン、輸出用153万トンを産し、北海道では187万トン(5.2%)が使用され、道民1人当りの消費量は321Kgとなつている。

部門別販売高 1位生コン1,243万トン、2位建築600万トン、3位製品460万トン、4位土木447万トンとなつている。

北海道各社別販売高 昭和40年には日本セメント63万6千トン(38.3%)、富士セメント62万8千トン(37.8%)、小野田系39万8千トン(23.9%)であつた。

我々は北海道内の需要は是非道内の工場で購入したいと努力しています。

出席報告

- 1. 本日の状況 会員数34名 出席25名 欠席9名
- 2. 前回の確定出席率 91.80% (会員数34名 当日出席25名
メイクアップ6名 出席合計31名)
- 3. 他クラブの状況 函館90% 函館東96%

司会 成田副会長 斉唱 君が代、手に手つないで

ゲスト 原百合子さん(350地区交換学生)

ビジター 桜井瑞男君(鶴岡西 日本酒製造) 石栗与吉君(網走冷凍倉庫) 松井弘清君(深川 食料品販売) 落合稼久蔵君(森 機械工場) 長佐古精一君(森 内科医)

村上正夫君他8名(函館) 花戸栄次郎君他10名(函館東)

成田副会長の随感

人前で全然話せなかつた私が、今日何とか話せるようになったのは、ロータリーに入つた功德であると喜んでおります。又会場後方に小畑先生と俣野先生の外遊の写真が置いてありますので後程御覧願います。

ニコニコ箱

御結婚記念日をお祝い申し上げます。

森君 塚田君 遠藤君 深瀬君 青柳君 戸栗君

新入会員御紹介

木下賤雄君(飯田会長推選) 後日会報に経歴等を掲載します。

小畑ガバナー。エレクトのお話

一昨々日帰つて参りました。ガバナー。エレクトになり7月からガバナーになるわけですが、レークブラシッドの会の写真を持つて来ましたので御覧下さい。レークブラシッドの会は丁度ガバナーの訓練の講習会のようなものとお考え下さればよいと思います。今年から始めて日本語のデスクッショングループが出来ました。友人の湯浅君が指導者であり、色々なことを討議しました。

ニースの大会は見事で、1万9千人も集まり、そこで俣野先生にもお会いしました。日本から東ヶ崎さんが68~69年度の会長候補に一票の反対もなしに選挙され、又理事に松本兼次郎さんも反対なしに選ばれました。日本のロータリーに於ける位置が大体おわかりのことと思います。細かいことは後日にして、本日は出発及び帰国に際してお礼にかえて一言申し上げました。